

吉本・国沢助役、田岡収入役再選

藤本・福岡・門田教育委員を再任

一般会計予算は総額約4億円を補正

小笠原市政二期目で、議会改選後初めての十二月定例市議会（第一四五回）は、十二月十二日から十四日の会期で開かれました。今議会には、両助役、収入役の選任、教育委員の任命や一般会計、空港周辺整備事業、国保、水道などの各会計補正予算など、二十九議案が提案され、六件に同意、十九件を可決、四件を継続審査としました。

議員の「ひのき舞台」である一般質問には十八名が立ち、四日間にわたり活発な意見が出されました。また、二期目を無投票で迎えた小笠原市長は、議会開会日の十一日、これからの四年間の市政の道標である「施政方針」を次のように発表しました。

可決された主な議案

- 助役・収入役選任の同意
任期満了となり、引続き選任しようとするもの。
教育委員任命の同意
五名の教育委員のうち、任期満了となる三名の教育委員を引続き任命しようとするもの。
印章登録と証明の方法を改正
改正は、一度登録して登録証が交付されると、以後実印を持参しなくてもよい、事務の簡素化、などが利点です。五十五年四月一日から。
職員定数の改正
市長事務部局（各委員会事務局や消防本部などを除く）の職員定数三百六十九人を三百八十人に改めるもの。
社会教育指導員の報酬を引上げ
月額五万一千円を七万四千三百円に。
一般職員の給与引上げ
人事院勧告により一人当たり平均三・六八割アップ。
児童遊園地の開園
完成した野中四七五番地（三区東）の東部児童遊園地が市有財産となったもの。
母子家庭の通院医療費を助成
これまでの入院医療費助成に加

されつつあります。公害のない工業誘致など産業面からもバランスのとれた都市を形成することに力を注ぎ、南国市の弱点といわれる南北道路、高知東バイパス、広域農道、春野赤岡線の着工も時間の問題で経済産業の発展に寄与することを期待し、一層の努力をしたいと思います。流域下水道事業、

国鉄阿佐線は南国市に再び都市計画画という大きな課題を投げかけて来ることが予想され、今から研究する必要があると感じています。当市は上佐の国片が置かれ、政治、文化の中心でありました。大学、専門学校、農業、工業高校と一応文教の地の体制を整えていますが、普通高校のないのは残念です。保育園、小学校、中学校の改善を進めていますが、文化水準を高めることを使命と信じ、その一つの施策として普通高校の建設を宿願と致しております。福祉については、現行制度を忠実に守り、財政のゆるす限り南国市にふさわしい行政を加味して行きたいと考えております。

す。保育園、小学校、中学校の改善を進めていますが、文化水準を高めることを使命と信じ、その一つの施策として普通高校の建設を宿願と致しております。福祉については、現行制度を忠実に守り、財政のゆるす限り南国市にふさわしい行政を加味して行きたいと考えております。

採択された請願、陳情

- 《請願》
農協病院内にある私立保育所運営の助成を六十万円にされたい。
亀岩に設置されている生コン会社の営業は、部落の環境を破壊するので、施設撤去のあつせん、道路、水路の復元を行政機関に働きかけてください。
国分橋右岸側より上流、広域農道までの国分右岸堤を市道に認定されたい。
《陳情》
南国市へ普通高校を早期に設置されたい。
南国市へ普通高校を早期に設置されたい。
国府保育所園児の定員数を施設に見合うよう増加されたい。
近年住宅南側の農道を4.7mに拡幅されたい。
白木谷小学校にプールを設置していただきたい。

可決された議員提出議案

- 福祉切り捨ての政府予算編成に反対する意見書。
文部省の四十名学級実現のための計画九年度を六年間に繰りあげようとする意見書。
議会に高知空港対策調査特別委員会を設置し、十二人の委員をもって構成、高知空港に関する対策調査を継続して調査すること。
今回の職員採用試験が内外に波及をもたらしたことは事の正否は別として残念なことである。このような事態をひきおこした原因は採用に関する基本的なとりきめがなされていなかったことにある。今後この種の問題が再び発生しないよう採用試験要綱を作成、消防署を含めての実施をすることにより市民の信頼回復をはかるよう強く要望する。

《吉本太志助役の略歴》



大正十二年生まれ、五十六歳。陸軍航空通信学校を卒業。

《田岡信雄収入役の略歴》



大正十二年生まれ、五十六歳。上倉第一青年学校卒業。

《藤本茂樹教育委員の略歴》



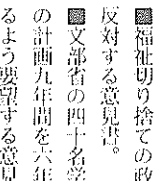
大正九年生まれ、五十九歳。高知工業学校卒業。

《福岡弘幸教育委員の略歴》



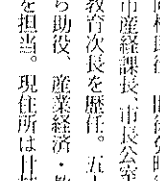
大正四年生まれ、六十四歳。県立青年学校教育養成所卒業後青年学校教諭。昭和二十一年県立青年学校校長のあと市内中学校教諭、県教委職員、昭和三十八年十市小校長、高知市内小学校長を歴任。昭和五十一年一月から市教育委員。現任所は東崎。

《門田真一教育委員の略歴》



大正十年生まれ、五十八歳。立命館大学卒業。昭和二十二年田岡府村役場に勤務。同村助役、旧後免町役場を経て、三十四年から南国市へ。総務、企画各課長、教育次長を歴任。四十九年四月市助役。五十一年一月から市教育委員。現任所は高知市。

《国沢守道助役の略歴》



大正十三年生まれ、五十五歳。長岡高等小中学校卒業。十七年旧長岡村役場に勤務。兵隊後、同村助役。旧後免町役場を経て、市産経課長、市長公室長、補佐監、教育次長を歴任。五十一年十二月から助役、産経課長、教育民生部門を担当。現任所は廿枝。